

船舶事故調査報告書

平成30年2月21日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突（岸壁）
発生日時	平成29年10月27日 11時20分ごろ
発生場所	広島県三原市松浜岸壁（尾道糸崎港第6区） 尾道糸崎港松浜東防波堤灯台から真方位098° 460m付近 （概位 北緯34° 23.0′ 東経133° 07.0′）
事故の概要	プレジャーボートさくら丸は、航行中、岸壁に衝突した。
事故調査の経過	平成29年11月6日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート さくら丸、5トン未満（長さ6.65m）
船舶番号、船舶所有者等	273-1415 広島、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型・特殊・特定
負傷者	重傷 1人（船長）
損傷	船首部等が圧壊（全損）
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東南東、風速 約4.7m/s、視界 良好 海象：波高 約0.5m、潮汐 上げ潮の中央期
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、試運転の目的で尾道糸崎港第5区にある広島県尾道市吉和漁港^{よしわ}を出航した。</p> <p>本船は、約5～6ノットの対地速力で、手動操舵により尾道糸崎港第6区を西進中、松浜岸壁に衝突した。</p> <p>船長は、本船を操船して吉和漁港に入航し、居合わせた人に救助を求め、救急車で病院に搬送され、右鎖骨及び右肋骨骨折並びに外傷性血気胸と診断された。</p> <p>船長は、救命胴衣を着用していた。</p>
分析	本船は、尾道糸崎港第6区を西進中、松浜岸壁に衝突したものと考えられるが、船長から情報が十分に得られなかったため、衝突に至った状況を明らかにすることができなかった。
原因	本事故は、本船が、尾道糸崎港第6区を西進中、松浜岸壁に衝突したものと考えられる。